

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(25年5月分)

1. 調査実施期間 平成25年 4月20日 ~ 平成25年5月10日
2. 調査実施方法
東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は29社、回収率は、72.5%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		25/5月	25/6月	25/7月
仕入動向	国産材	-9.5	0.0	0.0
	外材	-11.1	-11.5	-8.0
販売動向	国産材	-9.5	4.8	11.9
	外材	-18.5	-5.6	1.9
在庫動向	国産材	-9.5	-4.8	-5.0
	外材	-7.7	-15.4	-12.0

仕入れは、国産材は5月のマイナスが7月に向けゼロに、外材は、品薄及び価格上昇等によりマイナス基調で推移。

販売は国産材は5月のマイナスが7月に向けプラスに、外材は品薄、価格上昇もあって5月、6月はマイナスだが7月に向け小さなプラスに。

在庫は、国産材、外材ともは品薄、価格上昇の影響等もあってマイナス基調で推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	25/5月	25/6月	25/7月
スギ正角(グリーン)	16.7	10.0	6.7
スギ正角(KD)	26.7	13.3	10.0
ヒノキ正角	10.7	7.1	7.1
ヒノキ土台角	11.5	7.7	7.7
米ツガ正角(現地挽)	43.8	34.4	28.1
米ツガ防腐土台角	36.7	30.0	23.3
米ツガ割物(現地挽)	42.9	35.7	25.0
米マツ平角	53.8	34.6	26.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	59.4	37.5	28.1
ホワイトウッド集成管柱	52.9	32.4	17.6
レッドウッド集成平角	56.7	36.7	16.7
型枠合板(輸入)	46.2	38.5	26.9
針葉樹構造用合板	46.2	30.8	15.4
針葉樹構造用合板(厚物)	45.8	33.3	16.7

スギ正角(グリーン)、スギ正角(KD)、ヒノキ正角及びヒノキ土台角とも外材の品薄、価格上昇もあってやや強保合いのないし保合で推移。

米ツガ正角、防腐土台角及び割物は、品薄、円安等で上昇、高値横ばいで推移。

米マツ平角も、上昇、高止まり。北洋アカマツタルキも品薄、円安で上昇、高値横ばい。

WW集成管柱、RW集成平角とも品薄・円安で上昇、横ばいだが7月に向けプラス幅縮小。

合板は、輸入合板、構造用合板及び構造用(厚物)ともに品薄などで上昇、高値横ばいで推移だが7月に向けプラス幅縮小。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>当面入荷の見通しは全く立たず。(東京：米材問屋) しばらくは様子見で仕入れ抑える。木材ポイント始まり、内地材が増えるか？。(東京：集成材等問屋)品薄アイテムもあるが、材料は買いやすくなってきた。(東京：外材問屋) 国産材は横ばい。米マツ正角、小割品不足が目立つ。(東海：外材問屋) 平割、FJLとも入荷が少ない。現地は原料不足を背景に値上げを唱えており仕入れ厳しい。(東京：南洋材問屋) 産地天候回復も伐採量伸びず、相変わらず高値。(東京：南洋材問屋)仕入れはこれから一層値上げの様子。(東京：広葉樹等問屋) 良材は積極的に買うつもりだが、良材少ない。(東京：国産材等問屋) 急激に高騰した一部外材の仕入れ意欲失せ、代替品模索の必要を感じる。(東京：仲買・小売)外材、特にアカマツ、ツガは相変わらず品薄、価格上昇で質の低下著しい。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>旺盛な引合い来るものの玉が無く商い成立せず。他樹種への転換促すもうまくいかない。このままでは、建築材からSPは消えてしまう。かろうじて中国挽が細々と入ってくるが焼け石に水。(東京：米材問屋) 毎月コンスタントに販売できている。暫くは販売順調に推移しそう。(東京：集成材等問屋)米材、欧州材とも売れなくても価格は上昇気味。(東京：外材問屋)細かいがほどほど出荷している。(東京：外材問屋) 荷動きが単価の高さゆえに鈍くなった。(東海：外材問屋)荷動きは良好。急激な値上がりで利幅減少。(東海：外材問屋) 連休前は注文材の動き活発だったが5月に入り失速。(東京：南洋材問屋)見積多いが価格厳しく産地高、円安為替分の転嫁進まず。(東京：南洋・中国材問屋)3~4月の売り上げ不振の影響大きい。価格転嫁難しい。(東京：広葉樹等問屋) 既製品サイズ動かず別注品多く、製材に加工と手間が掛かる割に利幅少ない。(東京：国産材等問屋)連休はさんで動き悪い。何もかも細かくて売り上げが立たない。(東京：国産材問屋) 通常取引先には、このところの値上げもあまり影響ないが、既見積物件及び新規見積の対応に思案。(東京：仲買・小売)今月建つ予定の新築は国産材中心となる予定。(東京：仲買・小売)荷動き非常に活発な動きが続く。アベノミクスを評価。(東海：仲買・小売) 仕事が少なく暇な状況なのに木材、合板の値上がり続く。いつまで値上がりが続くのか。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>少量入荷しても即日完売のため在庫にならない。(東京：米材問屋) 若干在庫増やしたので少し減らす。(東京：集成材等問屋)在庫増やしたいが適材少ない。(東京：外材問屋) 国産材は横ばい。北欧材の入荷順調で在庫やや増。米・カナダ材少ない。(東海：外材問屋) 入荷量増えず全体的に在庫は減少。(東京：南洋・中国材問屋)入荷少なく在庫減少。(東京：南洋・中国材問屋)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>荷動きもたついている間に丸太相場は沈静化。問屋・工場とも今年前半上げそびれた感。(東京：国産材問屋)W.W-EW管柱の不足と価格上昇でスギの需要増。(東海：外材問屋) グリーン材もKDも強い模様。市場に品物が無いという話も聞く。(東京：仲買・小売) 外材値上げの割に国産材は安定。(大阪：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>品薄、価格上昇。(東海：外材問屋)</p>
米ツガ	<p>入荷減。米・カナダ材価格上昇と品不足ひどい。(東海：外材問屋)</p>
米マツ平角	<p>今後まだ上昇するかは為替次第。(東京：外材問屋) 5月は価格横ばいも来月以降不透明。(東海：外材問屋) 問屋から上げの案内。(東京：仲買・小売)4月26日以降 m3 2,000~3,000円 up. (大阪：仲買・小売)</p>
北洋アカマツ タルキ	<p>入荷減、価格上昇。(東海：外材問屋) 仕入れの度には上がっている。(東京：仲買・小売)値上がり率著しいが、また、大幅に値上すればエゾマツのように皆手を引いてしまう。(東海：仲買・小売) 荷動き良くないのに品不足、円安で価格上昇。動きが変わらなければそろそろ上げ止まりだが、消費税の駆け込み需要がどう出るか？。(大阪：仲買・小売)価格上昇中。(大阪：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>今のところ毎月値上がりしている。暫く続きそう。(東京：集成材等問屋)RWは品薄と円安で上昇気味。(東京：外材問屋)国内WW管柱5月は2,000円/本で横ばい、RW平角5月は62,000~63,000円/m3で横ばいも、来月以降不透明。(東海：外材問屋)値上げ分なかなか転嫁できず。(東京：国産材等問屋) 荷動き良くないのに品不足、円安で価格上昇。動きが変わらなければそろそろ上げ止まりだが、消費税の駆け込み需要がどう出るか？。(大阪：仲買・小売)価格上昇中。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>輸入型桧合板は引合は減るも為替、現地原木事情厳しく強含み。針葉樹は消費税がらみの旺盛な需要もあり、生産量を出荷量が上回り一部玉の足りないアイテムもあって強含み推移。(東京：合板問屋) 輸入型桧合板は入荷ますますでやや落ち着く。針葉樹12mmは950円~/枚、厚物は2,100円~/枚。(東海：外材問屋) 針葉樹は工場に在庫ないが商社は持っており、価格も商社次第の様子。株価も高く暫く強い状態続く予想。(東京：仲買・小売)短いスパンで価格上昇中。(大阪：仲買・小売)</p>